

## Jアラートによる情報伝達への学校の基本的な対応

①の場合は次のことを児童生徒に周知しておき、迅速な行動がとれるようにする。

### 弾道ミサイル発射

①ミサイル発射情報  
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難してください。」

(1) 日本に落下する可能性あり

(2) 日本の上空を通過

(3) 日本の領海外に落下

○ Jアラートが鳴ったら、直ちに屋内退避、すみやかに適切な行動をとる。

(1) 登校前に家にいた場合は、そのまま待機しミサイル通過や屋内退避解除の情報を確認した後、登校する。※ 登校時刻を過ぎても大丈夫です。

(2) 登下校中にJアラートの情報を知った場合には、近くの建物の中に避難する。

※「こどもの安全守る家」等の活用

(3) 遠足、運動場での体育の授業や部活動の練習などで屋外にいる場合は、建物の中に避難する。

(4) 屋外にいて建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

(5) 校舎内にいる場合は、カーテンを閉め、窓から離れる。

②直ちに避難する呼びかけ

「直ちに避難。直ちに建物の中や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。」

②の場合は①に加えて、次のことを周知する。

③落下場所についての情報

「ミサイル落下。ミサイル落下。〇〇地方に落下した可能性があります。情報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。」

②ミサイル通過情報

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程、このミサイルは〇〇地方から太平洋へ通過した模様です。不審なものを発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

②落下場所等についての情報

「先程のミサイルは〇〇海に落下した模様です。不審なものを発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

○ 不審なものを発見した場合は、絶対に触れずに、学校や近くの人に連絡する。

③の場合は、次のように対応する。

○ 災害対策本部からのメールによる特別な指示により行動する。